

日本雑草学会除草剤抵抗性研究会開催のお知らせ

—雑草生物学への分子生物学的手法の応用—

Dr. Mui-Keng Tan (オーストラリア Elizabeth Macarthur Agricultural Institute)

日時 ; 2月6日(土) 14時~16時

場所 ; 京都大学北部キャンパス農学生命科学棟1Fセミナー室

JR京都駅、阪急四条河原町駅から京都市バス17番、京都市営地下鉄烏丸今出川駅から203番に乗車、「農学部前」下車

(<http://www.weed.kais.kyoto-u.ac.jp/access.html>)

当日は、建物出入り口がロックされていますが、係の者が建物周辺で待機しています。

参加費 ; 無料

雑草は様々な耕種操作に適応し、現在も耕地で繁栄している。例えば、種子の休眠・休眠覚醒サイクル、手取り除草に対するイヌビエ類の擬態、除草剤散布に対する除草剤抵抗性の進化などなど。これらの特性の進化機構の解明は新たな防除法の確立に不可欠である。近年の分子生物学の目覚ましい発展はこれらの解明のための有力な武器となる。本研究会では、様々な分子生物学的手法を駆使して研究されてきたオーストラリアの Mui-Keng Tan 博士をお招きし、雑草生物学への応用事例について講演いただき、あわせて、今後の国際共同研究の可能性について意見交換する。

お問い合わせは、tominaga アットマーク kais.kyoto-u.ac.jp まで。